

ICT 通信

第20号



青梅市立第六小学校研究部

発行者 研究部 竹原弘樹

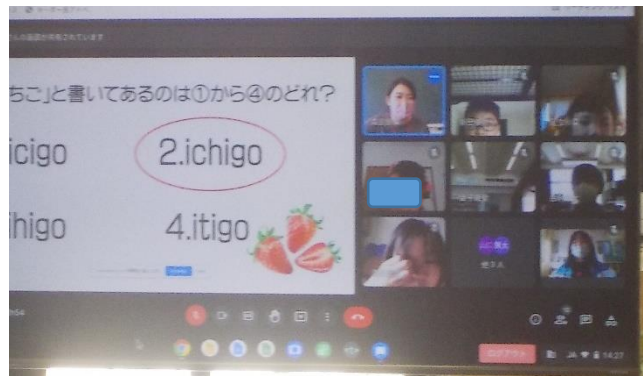
発行日 令和3年9月10日(金)

オンライン授業への準備、進行中です

先週は、5・6年生が先行してオンライン授業を試行しました。続いて今週は、3・4年生がオンライン授業を試行しています。

3年生は9/8(水)に、4年生は9/7(火)に、ローマ字の学習をオンラインで試行しました。画面共有を使って表示したローマ字を読む活動や、「ローマ字ビンゴ」の活動を行いました。

参加予定の児童は全員参加することができました。「途中で充電が無くなった。」「誤って音量をゼロにしていた。」などのトラブルはありましたが、すぐに対応し解決することができました。



また、学校内で2年生はオンラインで注文を届けるという活動を行いました。「DAIROKU eats」と称したこの活動を通して、google meet の使い方を感覚的に学び、オンライン授業に慣れさせています。

→遠くの教室から注文したものを、教室にいる友達の指示に従って歩き、届けるという活動です。



今後の課題としては、以下の二点が考えられます。

- ①各家庭の回線速度によって通信が不安定な場合があることを考慮した授業をする必要がある。
- ②授業改善を進めて、オンラインでも分かりやすく深い学びのある学習を作り出す必要がある。

①については、回線に大きな負荷がかからない活動を中心にしていくことが解決策となります。例えば、「見せたい動画を、画面共有で全員に視聴させる」「全員で同時にカメラを on にする」といった活動は回線に負荷がかかるため、避けていきましょう。

②については、校内研究や、毎月の「ミニ研修」を通して学び合い、よりよい授業ができるようにしていければと思います。

万が一の事態に備え、各学年が着々と準備を進めることができています。